

令和6年9月25日（水曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

井川一善、妻鹿幸二、阿野れい子、有馬剛朗、
三輪敏之、仁野央子、三和 衛、下林崇史、
坂本 学

【総務委員会（総務局）の審査】

開会 11時56分

総務局 11時56分

送付議案説明 11時56分

・議案第96号 令和5年度姫路市一般会計決算認定
について

質疑 12時02分

（質問）

令和5年度研修費の執行率は73.8%と、令和4年度の61.1%から大きく上昇している。これは新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえて対面方式による研修受講が増えたものと思われる。

コロナ禍を機にオンライン研修の導入が進んでいるが、研修の在り方と効果についてどのように考えているのか。

（答弁）

令和5年度の各課希望による派遣研修においては、全120コース中、47コース、39.2%がオンライン受講となっている一方で、現地において直接講師に質問をしたい、参加者同士で情報交換したい、といった要望もあり、最近は現地での参加が増える傾向にある。

いずれの研修を受講した場合であっても、所属内でのフィードバックを義務づけており、研修内容については職場でしっかりと共有できているものと考えている。

（要望）

費用面などを考慮し、研修はオンラインで十分であるという風潮が見られるものの、オンラインと対面の双方にメリットがあると思われることから、受講者がより効果的な研修方式を選べるよう配慮されたい。

総務局終了 12時07分

【総務委員会（消防局）の審査】

消防局 13時37分

送付議案説明 13時37分

・議案第96号 令和5年度姫路市一般会計決算認定
について

質疑 13時54分

（質問）

消防費国庫補助金について、各消防分団に配付しているAEDの更新財源として補助金を申請したが、国が不採択としたため収入済額がゼロとなったという説明があった。令和6年度予算にも計上されていないのが、AEDの更新に影響が出ていないのか。

（答弁）

国庫補助金を得られなかったが、市単独経費でAEDを購入している。財政課から叱られたが、必要なことであり、きちんと対応している。

（意見）

国庫補助金については残念に思うが、内部で叱責を受けようとも必要な経費であり、更新しているということに安心した。

（質問）

啓発宣伝経費のうち音楽隊経費については、令和3年度が148万円強、4年度が約124万円、5年度が約110万円と、徐々に減ってきている。令和3年度はコロナ禍の最中で消防音楽隊の出番が少なく、新型コロナが収束して出番が増えつつある令和5年度に歳出が減っている要因について説明してもらいたい。

（答弁）

令和3年度は姫路市消防音楽隊70周年記念演奏会の開催や楽器の購入等があり、予算が膨らんだものである。

出演料や講師の謝礼金など、音楽隊に係る予算は毎年度あまり変わらないが、令和5年度は講師が都合により来られなかったことがあり、報償費の支出が抑えられ、減額となっている。

（質問）

令和5年度の消防団の退団者は143人で、退職報償金を予備費から充用したということは、退団者が予想よりも多かったということだと思う。

令和4年度から消防団員の報酬が個人支給に変わ

り、退職者が一気に増えたのではないと思うが、各地域の消防団が非常備消防としての役割を担う中、予想以上の退団者が出たことについて、どのように考えているのか。

(答弁)

退団者数を 140 人程度と想定しており、人数については大体予想どおりだったものの、単価が予想と違っていた。予算上、1 人当たりの退職報償金を 36 万円程度と想定していたが、実際に辞めたのはベテランが多く、平均すると約 45 万円になってしまったため、不足が生じ、予備費を充用せざるを得なかった。

消防団については、若手を増やすために大学と連携するなど、担当職員がいろいろと考えてくれている。災害がいざ起きたときに地元に寄り添い活動するのは消防団員であるため、しっかりと確保に努めていきたいと考えている。

(質問)

消防団に若手が入り、代替わりがうまくできることが地域の安全につながると思う。

消防団員の確保に関して、個別支給が何らかの影響を与えたと考えているのか。

(答弁)

退職報償金の支給人数は 143 人だったが、支給されない団員も含めると、退団者は 157 人である。過去 10 年間の平均退団者数は 166 人であり、それよりも少なくなっている。

要因として、令和 4 年 4 月 1 日から開始された個人支給と年額報酬の増額、及び令和 5 年 4 月 1 日からの出勤手当の増額が消防団員の好感を得て、退団の抑止に働いたものと考えている。

一方で、令和 5 年度の新入団員数は 101 人となっており、同 4 年度の新入団員数の 89 人と比較して若干上向いており、持ち直してきていると感じている。

ちなみに、令和 6 年 4 月の入団者と令和 6 年 10 月の入団予定者を合わせると 119 人となり、令和 6 年度の新入団員者数は、過去 5 年で最高となる見込みである。

今後、人口の減少や地域のつながりの希薄化による若年層の地域貢献への関心の低下等によって団員の確保がより難しくなっていくと思うが、今後も消防団と協力して、地域防災の担い手となる若年層への入団

の働きかけを継続していきたいと考えている。

(要望)

新入団員数が上向き傾向にあるというのは非常に前向きな話だが、地元では、ここ 2 か月ぐらいで 2 人も辞める意向を示し、その理由は、何も活動を手伝えておらず、申し訳ないから、とのことであった。責任感があってこそその退団だと思う。

個人支給に変わり、同様の理由から消防団を辞める人が出てくると思うので、引き続き団員確保に向けてしっかり取り組んでもらいたい。

(質問)

市の中心部では消防団員を確保できても、問題は周辺部である。家島や坊勢には常備消防を置いておらず、災害時は消防団員が主となって活動している。坊勢はある程度の団員数を確保できているが、家島は住民登録をしていますが夜には船で姫路へ戻る人が多く、団員が極端に減っている。住民の間には、夜間に災害が起きることへの不安が大きい、どのように考えているのか。

(答弁)

消防団員の退団者数や年齢分布は、かなり地域差があり、家島は人口減少が特に早く進んでいるため、団員の確保もなかなか難しい状況である。また、夜は本土の家で寝泊まりしている人が多くなってきたという実情も認識している。今後も消防団と協力し、団員の確保に向けていろいろな手法を考えていきたい。

一方、常備消防についても、このたび就航した消防艇は船脚が速く、以前よりも応援体制がかなり強化されている。今後、常備の体制についても中長期的に検討していきたいと考えている。

(要望)

以前、消防団員の定年を 65 歳に引き上げたが、70 歳でもよいのではないと思う。実際、家島の老人会から、火事が起きたとき、自分たちでも水ぐらいかけられると言われた。少しでも協力したいという気持ちを持つ高齢者が多い。

高齢者には災害現場での活動は危険というのも理解できるが、火災が発生すれば、早めに火を消さないと町が大きな被害を受け、自分たちも危なくなってしまう。

消防団における高齢者の活躍について、ぜひ研究し

てもらいたい。

(質問)

非常備消防費中、安室東分団詰所改築工事の関連工事として安室東分団詰所前の歩道切下げ工事が発生しているが、切下げ工事を改築工事と同時に行っていれば、設計費等もかからず、改築工事をした部分を直さなければいけないといった無駄な費用が発生しなかったと思う。

現場を見れば、切下げしないと幅が狭くて消防車が出入りできないと誰が見ても分かると思う。建て替えるときに消防団にしっかりと意見を聞いて、一体で工事すべきものであり、関連工事になったのは、設計段階のミスと言わざるを得ないと思うが、見解を聞かせてもらいたい。

(答弁)

確かに2度工事するようになってしまい、よくないと思う。

事務方や消防職の者は工事等に明るくないため、設計の段階から営繕課としっかり協力して進めていくように頑張っていきたい。

(質問)

専門外ということではなく、もう少し真剣に事前に調べてもらいたいどうか。

(答弁)

消防職員が営繕課に一生懸命頼み、営繕課の指示を受けて分からないなりに動き、四苦八苦してやっている。今の状態のままではよくないというのは強く認識しているので、事務方が間に入って調整していきたいと考えている。

消防局終了 **14時15分**

【総務委員会（財政局）の審査】

財政局 **14時57分**

送付議案説明

- ・議案第96号 令和5年度姫路市一般会計決算認定について
- ・議案第103号 令和5年度姫路市財政健全化調整特別会計決算認定について
- ・議案第107号 令和6年度姫路市一般会計補正予算（第3回）

質疑 **15時12分**

質問なし

財政局終了 **15時13分**

選挙管理委員会事務局 **15時16分**

送付議案（説明省略）

- ・議案第96号 令和5年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 **15時17分**

(質問)

これから選挙が目白押しになると思うが、人員配置や予算について、どのように対応しようと考えているのか。

(答弁)

人員配置については既に人事課と協議を整え、今週初めから増員されている。今後も若干増員の予定となっている。

予算についても財政課と協議を済ませており、今後、予備費で対応できる場所は対応し、補正予算についても検討していく。

庁内各部署の協力を得て、全力で選挙を執行していきたいと考えている。

選挙管理委員会事務局終了 **15時18分**

【総務委員会（選挙管理委員会事務局）の審査】

会計課 **15時19分**

送付議案（説明省略）

- ・議案第96号 令和5年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 **15時20分**

(質問)

公金振込みに係る手数料が上がると聞いたが、どのようなになるのか。

(答弁)

令和6年10月から公金振込みが有料化される。

三井住友銀行にデータ伝送した分は110円、口座番号の間違い等により振込み手続後に資金が戻ってくると660円というような費用がかかるようになる。

(質問)

令和5年度は公金取扱手数料を20万円しか支出し

ていないが、今後は幾らぐらいになると見込んでいるのか。

(答弁)

令和6年10月から令和7年3月末までの令和6年度下半期分として、これまでも支払っていた公金取扱手数料20万円のほかに4,000万円ほどかかると見ている。

1年間の金額については、よく精査したいと考えている。

(要望)

指定金融機関の変更等も含めてよく検討してもらいたい。

会計課終了

15時22分

散会

15時22分

【総務委員会（会計課）の審査】